

日 付	平成29年8月1日(火)	天 気	晴れ
主な日程	アーグァ・ブランカ公園内有機栽培市場調査、サッカーミュージアム視察 MASP美術博物館視察見学		
タイムスケジュール	研 修 内 容	研 修 の 写 真	
8 : 1 0 アーグァ・ブランカ公園見学	アーグァ・ブランカ公園では、ニワトリや猫が放たれていて自然豊かな場所でした。有機栽培市場の前に博物館に行ってブラジルの化石や鉱物、測定の歴史を見ました。日本ではなかなか見られない資料でした。		
9 : 3 0 有機栽培市場視察	有機栽培市場では、小規模の販売所でしたが、パッションフルーツや卵、牛乳など様々なものが売ってありました。この有機栽培市場は19年続いているそうですが、人気が出てきたのは、ここ数年のことだそうです。市場では、初めてポルトガル語で「これは何?」「いくら?」などお店の方と会話をしました。		
10 : 4 0 パカエンブ競技場博物館見学	パカエンブ競技場博物館では、ブラジルでのサッカーの歴史や展示があり、その歴史の長さに驚きました。ブラジルの方は、缶や靴下をボールにして遊び、ボールを買えなくても身近なものでサッカーをしていたそうです。子供も夢中になるほど国民的なスポーツだと実感しました。また、サッカーゲーム盤もあってサッカーがよくわからない私でも、楽しむことができました。		
14 : 3 0 MASP美術博物館見学	美術博物館では、有名な画家が描いた絵が多くありました。モネやピカソ、ゴッホの作品が近くで見ることができ感動しました。		
18 : 0 0 夕食「あすか」	ニッケイパレスホテルの前に、日系ブラジル人の伊藤さんが経営するラーメン店「あすか」で夕食を食べました。ブラジルでは行列ができる人気店で、味噌、醤油、豚骨のラーメンやつけ麺を頂きました。		
◇1日を終えて	様々な場所に視察や研修に行きました。とくにパカエンブ競技場博物館や美術博物館は世界でも有名な展示がありました。この日、特に印象に残ったのは、有機栽培市場です。初めて使うポルトガル語で店の方に商品についての質問をしたり買い物をしたりしましたが、言葉が相手に伝わるか緊張しました。しかし、ブラジルの方がジェスチャーでわかりやすく伝えてくれたり優しく話を聞いてくれたりしたので無事に個人研究の質問もすることができました。言葉が通じないときも自分からコミュニケーションを取ろうとする姿勢は大切だと思いました。(担当 守屋)		